

---

# 神奈川県逗子市小坪漁港 PR資料

---

(令和6年3月時点)

---

# 1. 地域の概要

---

# 逗子市及び小坪海浜地域の概要

神奈川県逗子市は神奈川県の南東、三浦半島の頸部にあたり、東は横須賀市、北は横浜市、北西は鎌倉市、南は葉山町にそれぞれ境を接し、西は相模湾に面する。人口は57,060人（令和2年度国勢調査）で、東京から電車で約1時間という立地のため、首都圏への通勤者が多い。

小坪海浜地域は、逗子市の西部に位置し、海岸では市内唯一の漁港である小坪漁港があるほか、小坪マリーナ、リビエラ逗子マリーナ等のリゾート施設を有する。人口は小坪全体では7,803人、海浜地域である小坪4丁目、5丁目では1,327人（令和2年度国勢調査）となっている。



図表1 逗子市の位置

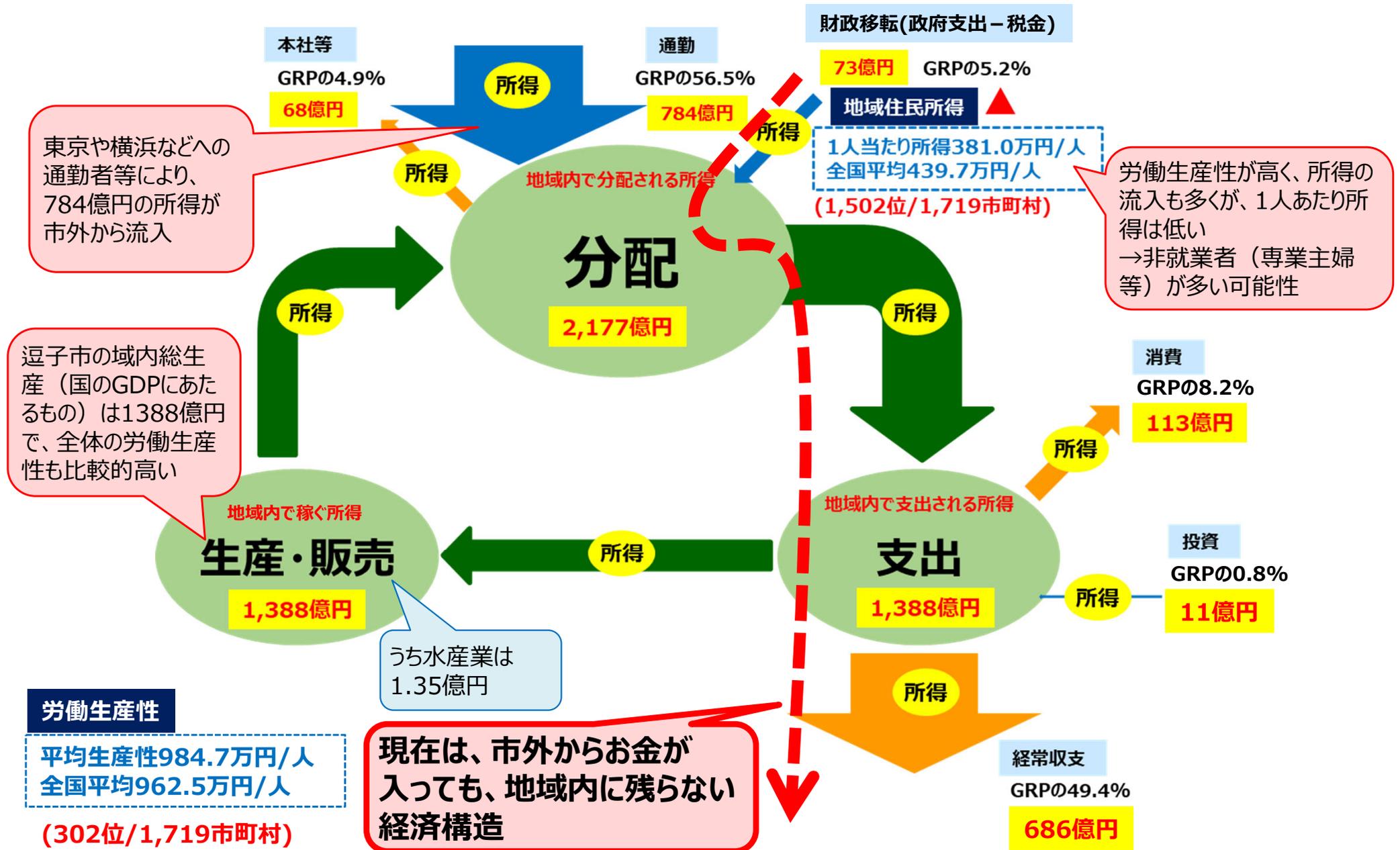


図表2 小坪漁港の位置



図表3 小坪漁港と小坪地区

# 逗子市の地域経済循環構造

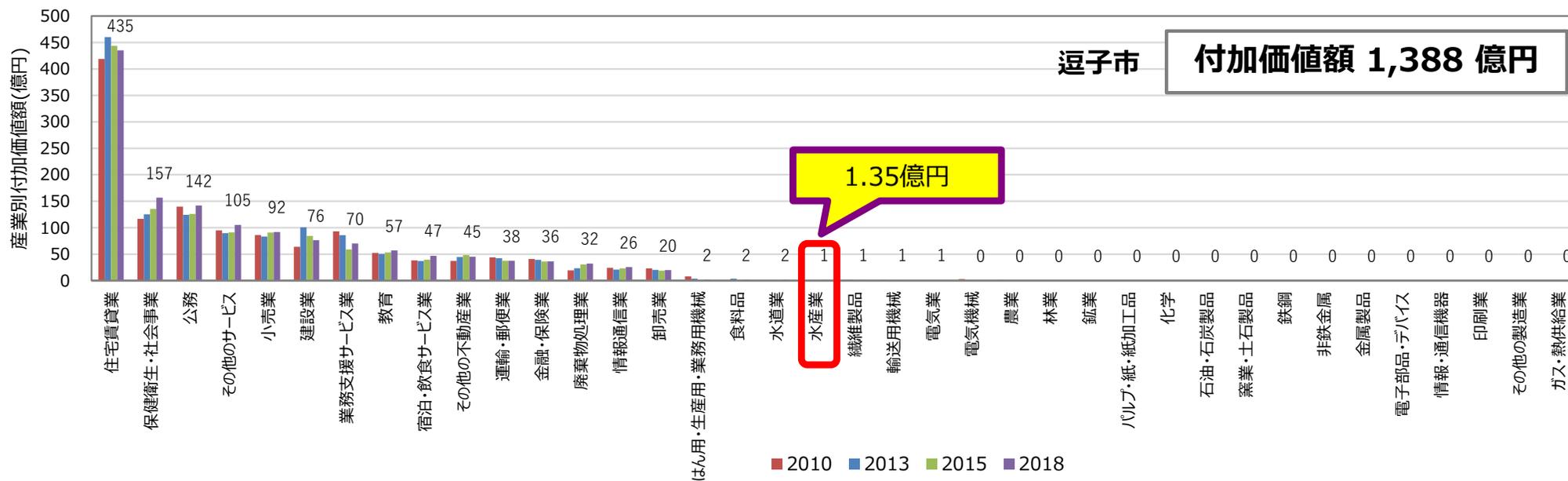


図表4 逗子市の所得循環構造 (出所:「国民経済計算」、「県民経済計算」、「産業連関表」、「国勢調査」より作成)

# 逗子市の産業構造（産業別付加価値額）

逗子市の生産・販売額1,388億円のうち、水産業の占める割合は1.35億円となっており、全体の約0.1%となっている。

## 産業別付加価値額 2010年～2018年

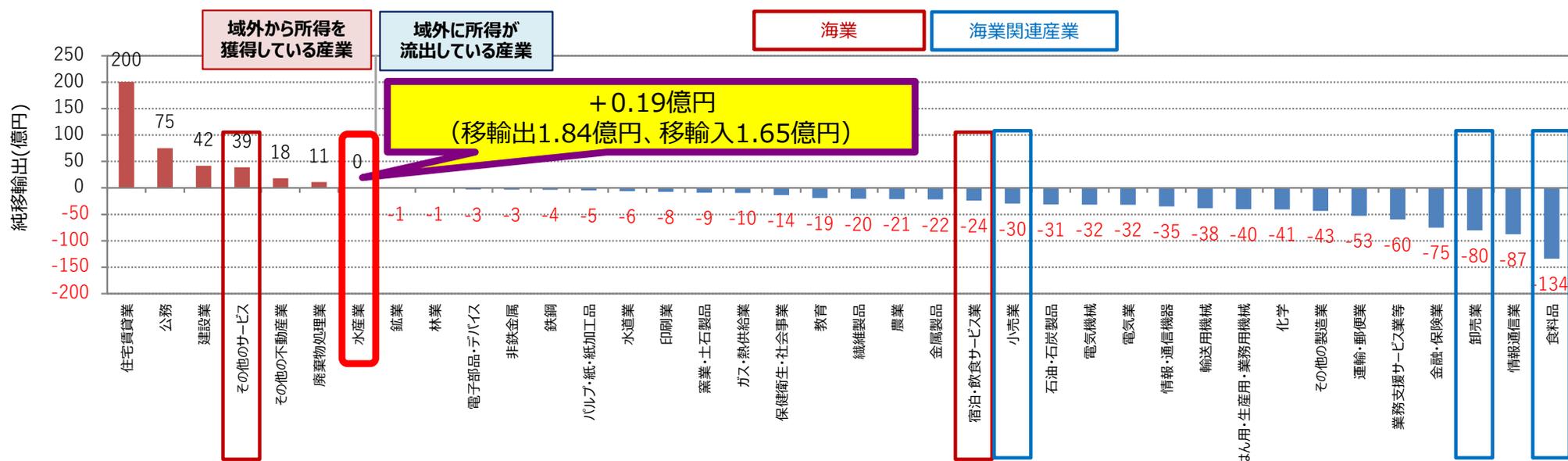


図表5 逗子市の産業別付加価値額

(出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「工業統計」等より作成)

# 逗子市の産業構造（経常収支の内訳）

## 経常収支の内訳（産業別純移輸出額）



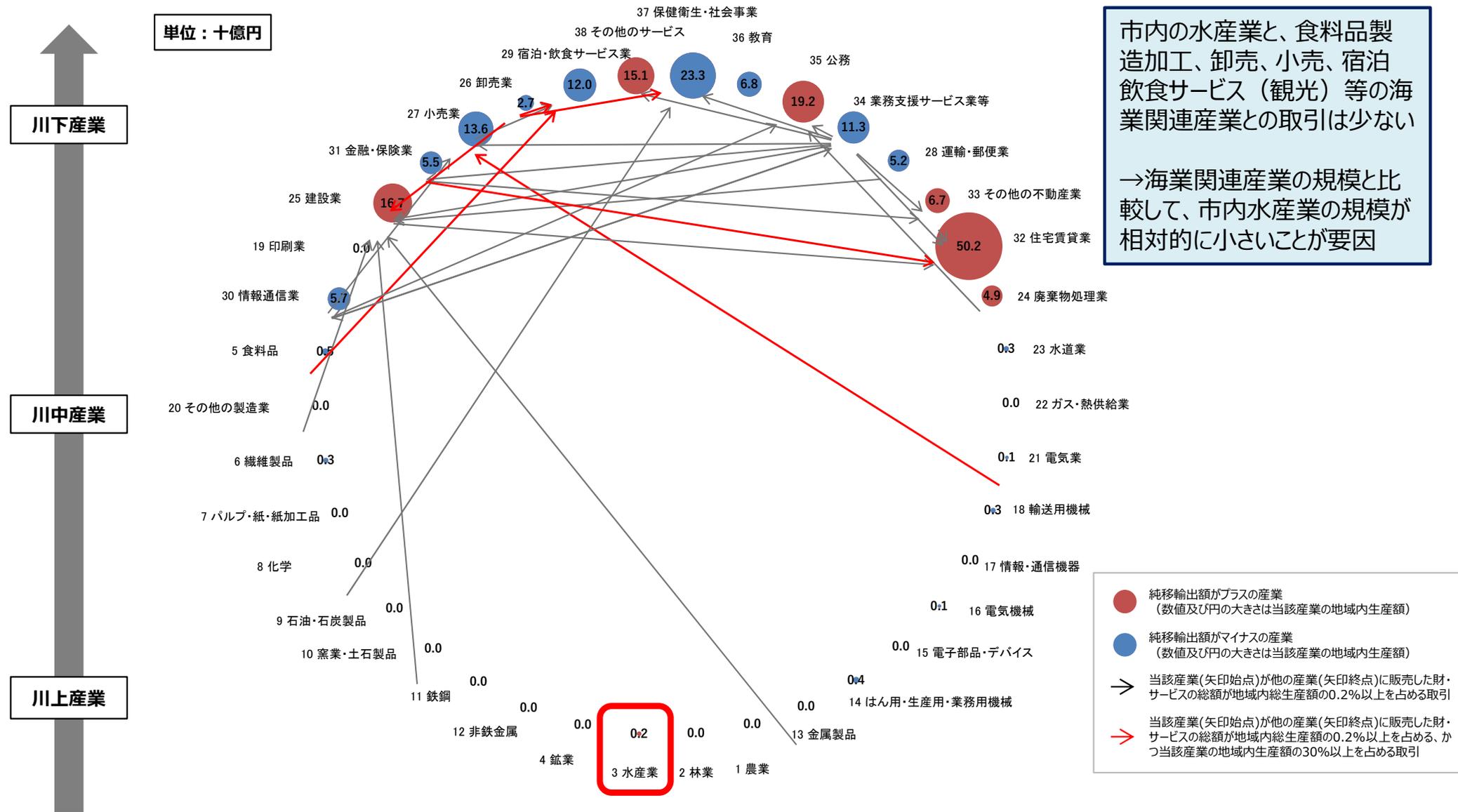
逗子市において、水産業は市外から所得を獲得している産業となっているが、市内の食料品製造加工、卸売、小売、宿泊飲食サービス（観光）といった海業関連産業の多くは、市外から多くを調達している（市外に所得が流出している）

図表6 逗子市の産業別純移輸出額

（出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業関連表」より作成）

# 逗子市の産業構造 (産業間取引構造)

## 産業間取引構造

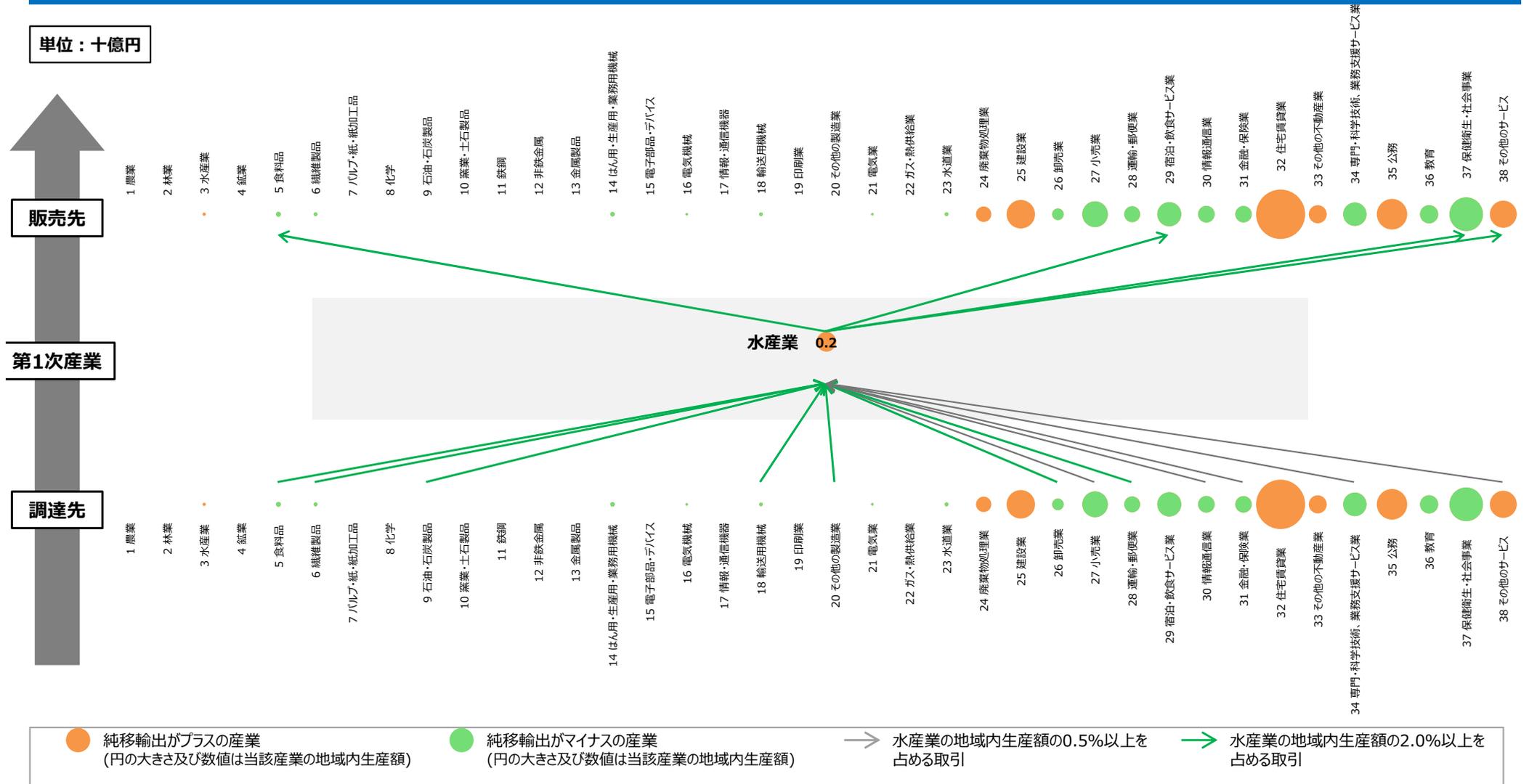


図表7 逗子市の産業間取引構造

(出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」より作成)

# 逗子市の産業構造 (水産業に着目した産業間取引構造)

## 「水産業」に着目した主要な取引構造



水産業に着目すると、市内の食料品加工製造、宿泊・飲食サービス等には一定の取引がある

図表8 水産業に注目した逗子市の産業間取引構造  
(出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「経済センサス」、「産業連関表」より作成)

# 逗子市の漁業の概況（漁港、漁獲量）

小坪漁港は神奈川県逗子市の西部に位置する、相模湾に面した市内唯一の漁港である。漁港としての歴史は長く、鎌倉時代より続く伝統を有している。

漁港整備は、民間会社が昭和40年代に行った公有水面埋立に伴う漁場補償として防波堤、護岸などを造り寄贈したことに始まり、その後船揚げ場が造成され、現在の姿となった。その結果、漁港区域内に複数のマリーナを有している。

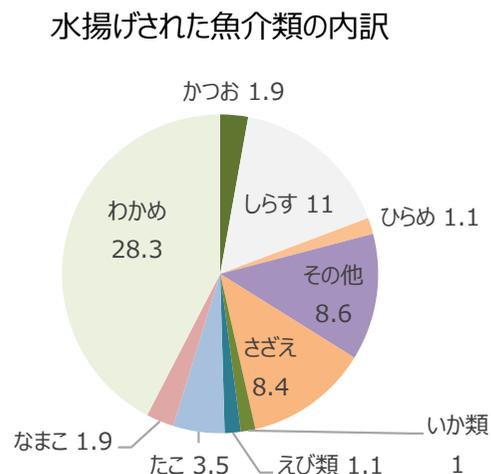
港付近には丘に面して閑静な住宅街が並び、大都市近郊にありながら稀有な漁村景観を有している。



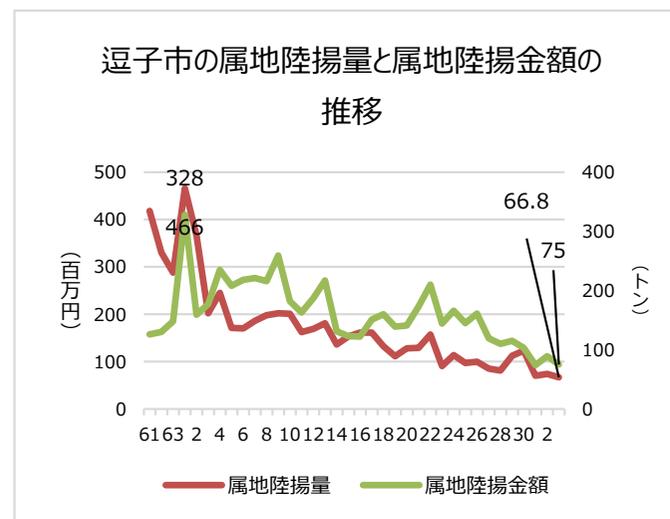
図表9 小坪漁港上空撮影図

小坪漁港で獲れる主な漁獲物はわかめ、しらす、その他の魚（カツオ、アジ）などとなっており、属地陸揚量は66.8t、属地陸揚金額は75百万円となっている（令和3年時点）。

担い手の減少や水産資源の減少、磯焼け等の海面環境の変化等により、漁獲量は年々減少傾向にある。



図表10 小坪漁港で水揚げされた魚介類の内訳（令和3年）  
（出所：逗子市港勢調査）



図表11 小坪漁港の水揚げ量の推移  
（出所：逗子市港勢調査）

# 逗子市の漁業の概況（漁業就業者数）

- ・漁業就業者数は2000年から2020年の間で57.4%減少。
- ・年齢構成は65歳以上の割合は市全体で39.0%、このうち75歳以上の割合が5.8%であるが、全国・県平均と比べると、75歳以上の割合は低い。

## 漁業就業者数の推移

漁業就業者数	2000年	2010年	2020年	2000→2020
神奈川県	2,409	1,588	1,213	▲49.6%
逗子市※	47	20	20	▲57.4%

図表12 神奈川県及び逗子市の漁業就業者数の推移

（出所：国勢調査（2020年））

## 漁業就業者の年齢構成

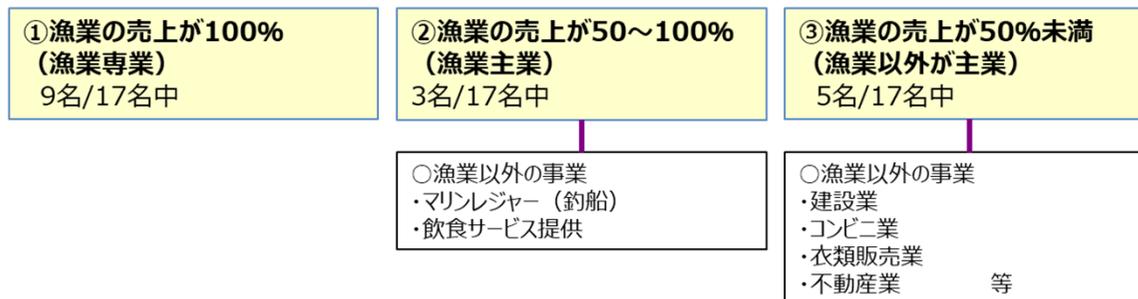
	就業者数	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	65歳以上割合	75歳以上割合
全国	151701	1065	4027	5352	7597	8842	9826	11185	12836	14851	18003	21115	16164	20838	38.3%	13.7%
神奈川県	1,848	19	53	73	88	99	128	169	161	163	191	211	193	300	38.1%	16.3%
逗子市	41	0	1	0	0	4	0	6	7	3	4	9	5	2	39.0%	5.8%

図表13 全国、神奈川県及び逗子市 ※の漁業者の年齢構成

（出所：漁業センサス（2018年））

# 逗子市の漁業の概況（小坪漁協組合員の事業構造）

小坪漁業協同組合の組合員を対象にアンケートを行ったところ、逗子市の漁業者の事業構造は、①漁業の売上が100%、②漁業の売上が50～100%、③漁業以外の売上が50%未満の者がそれぞれおり、③については大半が海業関連産業以外の事業に従事している。②③については、漁業以外の事業で収入を補うために兼業を行っていると思われる。



## 【アンケートの実施方法】

令和5年9月22日に小坪漁協組合員を対象とした海業振興に関する説明会及び事業構造調査を実施。（1日に2回、計23名参加）。事業構造調査は、組合員33名のうち18名から調査シートを回収。

## 【調査項目】

1. 回答者の年代
2. 直近1年（または1年度）の売上高全体を100%としたとき、漁業の売上、漁業以外の売上のおおよその割合、上記の販売先、販売先所在地
3. 今後の漁業以外での事業への取り組みへの希望、想定する売上高

図表14 逗子市の漁業者の事業構造の類型  
(アンケート調査結果より)

# 漁業関係者等の新規事業ニーズ

小坪漁業協同組合の組合員を対象にアンケートを行ったところ、新規事業への参加意向がある組合員はいずれの業種においても約27～44%程度おり、期待する売上は下記のとおりだった。

## ①食料品等の製造事業



■ 取り組んでみたい ■ 取り組んでみたいと思わない ■ 未記入

期待する売上 合計額 510万円  
平均額 85万円 (/人)

## ②食料品等の販売事業



■ 取り組んでみたい ■ 取り組んでみたいと思わない ■ 未記入

期待する売上 合計額 690万円  
平均額 115万円 (/人)

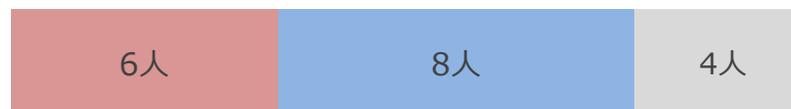
## ③飲食サービスの提供事業



■ 取り組んでみたい ■ 取り組んでみたいと思わない ■ 未記入

期待する売上 合計額 1500万円  
平均額 300万円 (/人)

## ④マリンレジャー事業



■ 取り組んでみたい ■ 取り組んでみたいと思わない ■ 未記入

期待する売上 合計額 920万円  
平均額 184万円 (/人)

<その他の事業ニーズ>

・養殖事業 (2名)、・漁業体験、・サマーキャンプ、・マルシェ、・フェス (イベント)、・海洋教育事業 等

図表15 逗子市の漁業者の新規事業ニーズ調査結果

# 逗子市におけるこれまでの海業関連の取り組み状況

逗子市でこれまで行われてきた海業関連の取り組みは以下のとおりである。

## ①観光開発等

- 1) 小坪漁師タクシー実証実験（市と共同実施、(株)小坪マリナー・県協力）
- 2) 鎌倉～江の島を周遊する観光遊漁船クルーズ（観光協会連携）
- 3) 小学生親子を対象とした漁業体験（いこーよ・日本財団連携、刺網やわかめ干し作業体験）
- 4) 船上市場やワカメ収穫祭、小坪魚々祭りの開催による賑わいづくり（観光協会連携、若手漁師チーム）
- 5) 車中泊の貸し出し区画の整備（市連携、カーステイ）
- 6) 漁港や漁業を周知するための冊子の作成配布（観光協会、市連携）

## ②養殖・生産量拡大の取り組み

- 1) 磯焼け対策を兼ねたキャベツウニの陸上養殖（合同会社こつぼの取り組み）
- 2) アオリイカの産卵場所の復活のための人口産卵床設置（マリン・ダイビングショップ、釣り具メーカー、日本釣振興会との連携の取り組み）
- 3) 海ブドウの陸上試験養殖（合同会社こつぼの取り組み、水福連携の検討）
- 4) カキの試験養殖

※市内民間事業者と漁協連携の取り組み

- 1) リビエラ逗子マリナー内の浮桟橋を活用したブルーカーボンの取り組み（早熟カジメの養殖）  
 (株)リビエラリゾート、(一社)ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所及び神奈川県三者で、相模湾の豊かさを守り、脱炭素社会を実現するための取り組みを連携・協力して推進するため協定を締結（R4.12.10）、県水産技術センターが品種開発した早熟カジメをハーバー内浮桟橋で養殖
- 2) ウニの畜養及び藻場の再生に向けた取り組み  
 高幸建設(株)が小坪マリナー内にコンテナトラック車を設置し、簡易の培養施設を作って培養実験中

## ③海洋教育

- 1) 小学生親子を対象とした漁船・水中ドローンを活用した海洋SDGs ツアー（いこーよ・日本財団、民間事業者連携）
- 2) 市立小学校での漁業体験課外学習（ワカメ養殖の種付け～収穫体験等）
- 3) 市立小学校での海洋SDGsに関する出張授業（アオリイカ産卵床の取り組み）

# 小坪漁港周辺の観光入込客数（令和4年）



図表16 小坪地区周辺図と主な観光地の入込観光客数（出所）令和4年神奈川県入込観光客調査

---

## 2. 海業振興の方向性・将来像

---

---

## 小坪漁港における海業振興の方向性

- 逗子市において、食料品製造加工、卸売、小売、宿泊飲食サービス（観光）は、市内においてポテンシャルがある産業（現状で、市外からの調達が多い）
- 市内の水産業と食料品加工製造、宿泊・飲食サービス等には一定の取引がある
- 一方、逗子市全体の産業規模に対する水産業の規模は小さく、既存の海業関連産業が地元水産業との取引を拡大することによる所得向上の効果は限定的



- 小坪漁港は、小規模ながら大都市に近く、隣地に観光レジャー施設が立地していることから、**小坪漁港（漁協、漁師）においては、加工・製造、小売、観光サービス等の海業関連産業を漁業者等が自ら取り組み、これらのポテンシャルを活かして所得の拡大を図ることが望ましいのではないか。**



**「漁師が主役」の海業振興**

# 逗子市の海業のコンセプト

## ○地理的特性を生かす

- ・大都市との近接性、周辺観光資源の活用（小坪エリア内のほか、逗子海岸、鎌倉、葉山、江の島等との連携・回遊）
- ・小坪漁港ならではの魅力、個性、規模感の考慮（複合拠点化）

## ○漁業者の新たなチャレンジを促す

- ・漁港施設、エリアの有効活用（規制緩和等の効果的活用）
- ・漁業者の新規事業ニーズへの対応（漁師目線の新規事業）

## ○小坪漁港の持続的な成長・発展につなげる

- ・養殖等の推進、磯焼け対策等による漁獲量の安定化
- ・次世代に向けた環境教育



図表17 小坪漁港を中心とした海浜地域の海業振興のコンセプトのイメージ図

## <ポイント>

- ・現状、「魚が売れない」わけではなく、「売るものがない」「投資がしにくい」状況

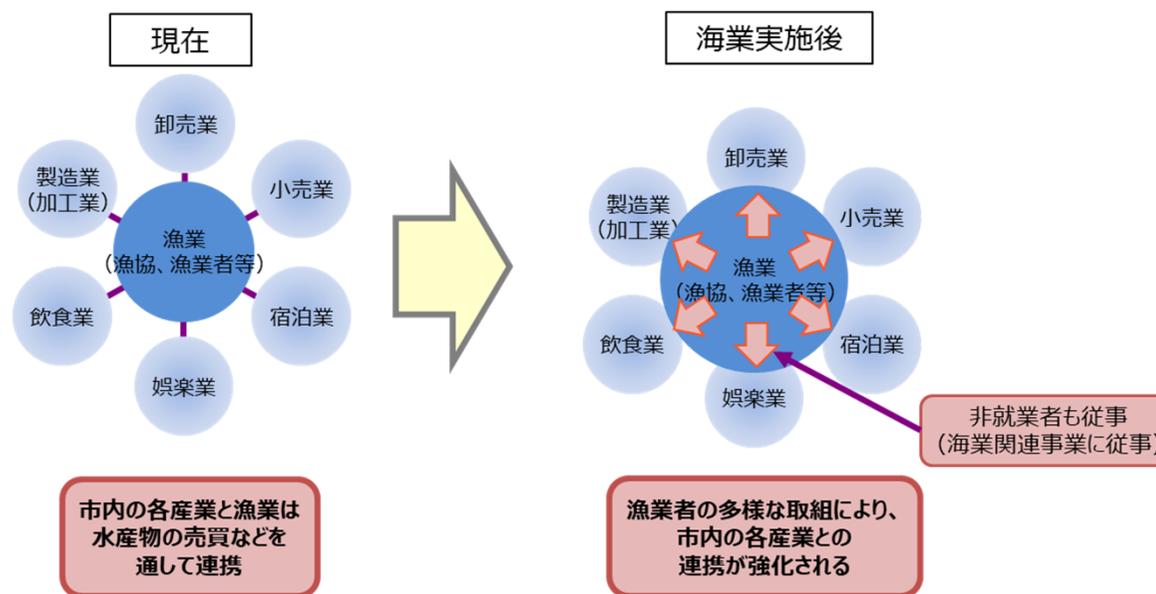
### 【新たな収益源の確保】

- ✓ 将来の漁獲量拡大や収益拡大につながる取り組みに投資したり、試行するための新たな収益源をつくる
- ✓ 例えば、海上タクシー、駐車場収入など、漁業とは別の収益源を確保し、これを原資に、環境改善や漁獲量安定化の取り組みを進めていく

### 【収益性の向上（ビジネスアイデアの啓発）】

- ✓ 現在の取り組みを生かしつつ、漁業者の新たなチャレンジや可能性を引き出す場・環境を用意する
- ✓ 例えば、漁港周辺の案内を強化することで、既存の加工・販売業を回遊する動線を太くしたり、漁業者が新たな事業に取り組もうとした際にチャレンジできる環境・設備を用意し、漁業者の（漁業以外も含めた）収益性の向上を図るとともに、漁業を起点とした地域の産業振興・雇用拡大につなげていく

# 「漁師が主役」の海業振興のイメージ

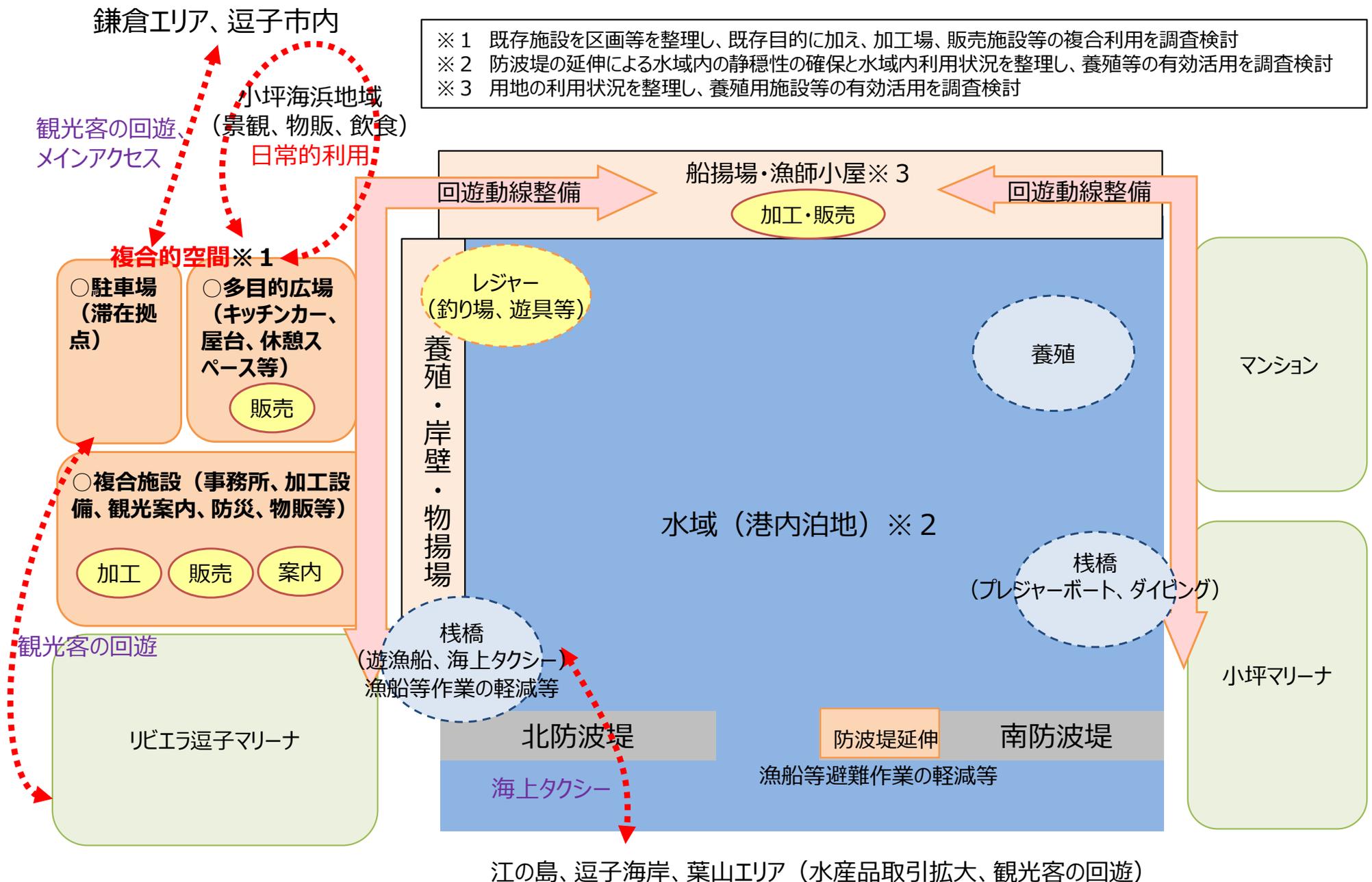


図表18 「漁師が主役」の海業振興のイメージ図

- 漁業者（漁協、漁師）が、ポテンシャルのある分野の事業に自ら取り組むことで、漁業者の所得を向上するとともに、（漁業者以外の）市内の非就業者等が海業に取り組む（港で働く）ことで、住民所得を底上げ

- 漁業者は、海業により新たな収入を獲得しつつ、本業である漁業の持続的な振興に向けた対策等（知名度向上、養殖事業開発、磯焼け対策、環境対策等）を実施する。
- これにより、将来的に、漁業の経営体力強化、漁獲量拡大につなげ、市内産業間の取引拡大にもつなげる
- また、観光客が訪れることにより小坪海浜地域に賑わいが生まれるとともに、漁業以外の産業でも取引が拡大することで、小坪海浜地域全体が振興し、地域の長期的な維持・発展の礎となる。

# 小坪漁港の利活用イメージ 小さな漁港を最大的に活用した複合的事業展開



図表19 複合的事業展開のイメージ図

---

## 3. 実施する海業の概要（海業計画）

---

# 計画策定の経緯

逗子市では、小坪漁港の活性化のため、令和3年12月16日から令和5年3月にかけて小坪漁港海面利用事業者意見交換会を実施し、計11回にわたり意見交換会を実施した。

その過程で、取組の更なる推進のため、令和4年11月に水産庁による海業振興モデル地区に応募し、令和5年3月に選定を受け、調査支援、関係者協議支援及び計画策定支援等を受けた。

本計画は、上記の一連の取組を背景としたうえで、以下の会議において計画案を検討協議し、策定を行ったものである。

- ・令和5年11月24日 第1回小坪漁港の海業振興に関する検討準備会
- ・令和6年1月31日 第2回小坪漁港の海業振興に関する検討準備会
- ・令和6年2月16日～3月1日 小坪漁港海業振興計画漁業者への意見募集
- ・令和6年3月21日 第3回小坪漁港の海業振興に関する検討準備会

## ＜小坪漁港の海業振興に関する検討準備会メンバー＞

小坪漁業協同組合、小坪マリーナ、リビエラ逗子マリーナ、逗子市商工会、  
小坪商栄会、逗子市観光協会、逗子市  
(オブザーバー) 水産庁、神奈川県、有識者 (小坪漁業協同組合活性化アドバイザー)



## 3. 海業の方針

小坪漁港は小規模ながら大都市に近く、隣地に観光レジャー施設が立地していることから、**漁業プラスアルファの事業に取組み、所得の拡大を図る⇒「漁師が主役」の海業振興**

### ○地理的特性を生かす

- ・大都市との近接性、周辺の観光集客等の活用（逗子海岸、鎌倉、葉山、江の島等との連携・回遊）
- ・小坪漁港ならではの魅力、特性の活用（大都市近郊で稀有な漁村景観、歴史、文化等）

### ○漁業者の新たなチャレンジを促す

- ・漁港施設、エリアの有効活用（規制緩和等の効果的活用）
- ・漁業者の新規事業ニーズへの対応（小坪ならではの新規事業）

### ○小坪漁港の持続的な成長・発展につなげる

- ・養殖等の推進、磯焼け対策等による漁獲量の安定化 ・次代に向けた環境教育

## 4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

### 1. 複合的空間整備事業（所有：市、整備・運営：PFI等を活用した民間事業者）

小坪漁港施設内に、海業関連事業を実施する空間的整備を行う。防波堤の延伸のほか、景観・案内板、多目的広場、駐車場、災害対策施設、複合施設（観光案内所、加工設備、事務所、多目的室等）を整備する。  
⇒観光客の増加、漁港周辺の安全性強化、小坪漁港の認知度向上、市内の雇用拡大 等

### 2. 漁業者による水産品の加工・販売、飲食提供活性化事業（漁業者及び既存事業者）

1.の複合的施設内に加工設備や多目的広場（キッチンスペース、屋台等）を整備・確保することにより、現状で加工設備や販売設備を持たない漁業者が、新たに加工・販売ビジネスに参入できるようにする。  
⇒観光客の増加、小坪漁港の認知度向上、市民の雇用拡大

### 3. 海上タクシー事業（漁業者（船舶所有者））

漁業者が漁業活動をしていない時間帯に、漁船や漁港施設を活用し、周辺観光地（逗子海岸、江の島、葉山等）と小坪漁港を結ぶ海上タクシー（漁師タクシー）を運航することで観光客を呼び込む。  
⇒小坪漁港の認知度向上、利用をきっかけとした小坪漁港への立ち寄り増・滞在時間拡大

### 4. 小坪エリアの資源を生かした体験観光・教育事業（小坪漁業協同組合、地域住民、民間事業者）

観光客や、子ども（学校等）を対象に、漁業体験や加工体験、海洋環境（循環共生）、小坪の歴史や文化などを題材とした体験観光・教育コンテンツを造成し、漁港関係者や地元住民等がガイド役となって非日常の体験を提供することで、所得向上及び小坪海浜地域の活性化につなげる。  
⇒小坪漁港の認知度向上、住民の愛着・誇りの醸成、地域のイメージ向上、漁業への理解促進

### 5. 小坪エリアの交通結節拠点化事業（駐車場、交通案内）（民間事業者（施設運営者））

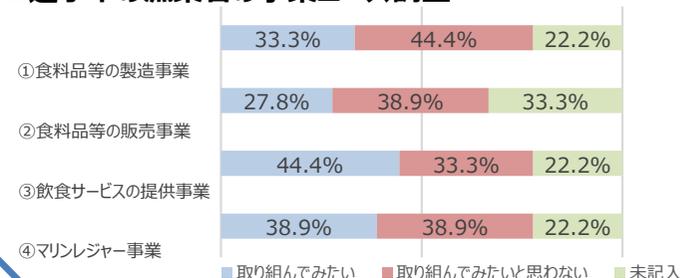
1.の施設整備により、観光客向け他の駐車場、観光案内、海上タクシー乗り場等を一体的に整備することで、収益を確保しながら、観光客の滞在時間拡大を促し、地域経済の活性化を図る。  
⇒小坪漁港の認知度向上、住民の愛着・誇りの醸成、地域のイメージ向上、漁業への理解促進

- ・漁業者は、海業により新たな収入を獲得しつつ、本業である漁業の持続的な振興に向けた対策等（知名度向上、養殖事業開発、磯焼け対策、環境対策等）を実施する。
- ・これにより、将来的に、漁業の経営体力強化、漁獲量拡大につなげ、市内産業間の取引拡大にもつながる
- ・また、観光客が訪れることにより小坪海浜地域に賑わいが生まれるとともに、漁業以外の産業でも取引が拡大することで、小坪海浜地域全体が振興し、地域の長期的な維持・発展の礎となる。

## ■逗子市の漁業者の類型 ※約半数が兼業

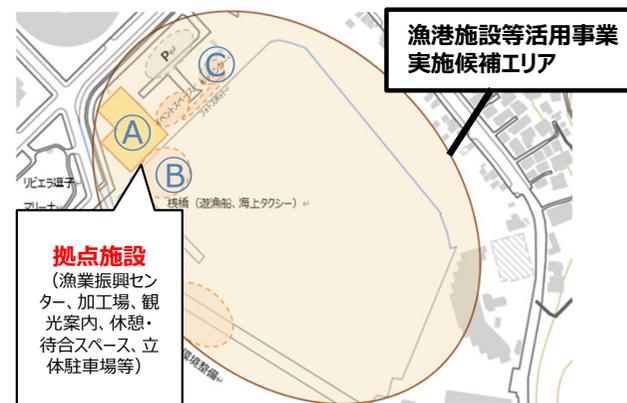
漁業専業 （漁業の売上が100%） 52.9%	漁業主業 （漁業の売上が50~100%未満） 17.6%	漁業主業 （漁業の売上が50%未満） 29.4%
-------------------------------	------------------------------------	--------------------------------

## ■逗子市の漁業者の事業ニーズ調査



※3割以上の漁業者が新規事業の取組に意向あり

## ■漁港施設等活用事業候補エリア



## ■海業振興によって期待される効果

事業（アクティビティ）、アウトプット	中間アウトカム	中間アウトカム	地域へのインパクト
1.複合的事業展開に向けた空間整備 多目的広場の整備 防波堤の延伸	漁業環境の向上	海浜環境の改善への取り組み	地域経済の活性化（所得、雇用増）
2.漁業従事者による水産品の加工・販売、飲食提供活性化事業 水産物等を使用した飲食物の提供	より高く売れる商品の開発・販売 水揚げ以外の売上の増加	漁業者、漁協の所得・雇用増 漁業者のモチベーション向上、活躍の場の拡大	海洋環境を含む地域の賑わいの維持・保全
3.海上タクシー 周辺観光地との間に漁師タクシーを運航	観光客の回遊の促進	市内事業者の所得・雇用増	歴史・文化・賑わいのある小坪地域の維持・発展
4.小坪地域の資源を生かした体験観光・教育事業 遊漁船や海洋教育、小坪の歴史や文化等の地域教育の実施	漁業への理解促進、地域への愛着形成	漁業・地域振興の新たな担い手の育成	
5.小坪エリアの交通結節拠点化事業（駐車場、交通案内） 遊漁船やプレジャーボートの受付所、浮橋等を設置 複合施設内に駐車場等を整備	観光客数の増加 観光客の滞在時間の増加	地域の賑わいの創出、地域のイメージ向上	

# 実施する事業一覧

---

	取り組み名
①	複合的空間整備事業
②	漁業者による水産品の加工・販売、飲食提供活性化事業
③	海上タクシー事業
④	小坪エリアの資源を生かした体験観光・教育事業
⑤	小坪エリアの交通結節拠点化事業（駐車場、交通案内）

# 小坪漁港 海業事業計画①

事業名		複合的空間整備事業
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪漁港内に、漁港施設等活用事業制度を活用して、漁業者や民間事業者による海業の取り組みを充実させるための施設・空間整備等を行い、海業振興を推進する。</li> <li>具体的には、以下の機能・設備を想定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>景観・案内板等整備</u>（案内板、通路整備、景観整備等） <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 観光客が、漁業に支障のない範囲で漁港施設内を自由に行き来できるようにし、漁業者が漁師小屋等で加工・販売する商品の購入拡大及び漁業者との交流を促すための回遊動線を整備する。</li> </ul> </li> <li>○<u>多目的広場整備</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 朝市などのイベントのほか、キッチンカーや屋台での飲食提供を可能な多目的広場を整備する。販売設備を持たない漁業者や地元事業者にスペースを貸与し、販売や飲食提供ビジネスへの参入を支援する。</li> <li>✓ 広場に隣接して、ファミリー向けのミニ釣り場・遊具等、小規模のレジャー機能整備も想定。</li> </ul> </li> <li>○<u>駐車場</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小坪漁港観光客のほか、海上タクシーを利用者、遊漁船利用者、マリンレジャー客を想定する。</li> </ul> </li> <li>○<u>災害対策施設</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 南防波堤の延伸、避難施設（タワー）整備などを想定</li> </ul> </li> <li>○<u>複合施設</u>（既存漁業振興センターの建て替え） <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 観光案内所、休憩スペース … 周辺のまち歩き・食べ歩き案内、小坪の歴史・文化PR、マリンレジャー案内等</li> <li>✓ 加工設備 … 加工体験等の受入のほか、希望する漁業者に設備を貸与し、新たな加工・販売事業への参入を支援</li> <li>✓ 事務所 … 漁業協同組合事務所、管理運営事務所</li> <li>✓ 多目的室 … 組合の会議のほか、体験学習等の説明、災害時の避難スペース等としての利用を想定</li> <li>✓ その他 … 運営事業者の収益事業のための物販・飲食テナント 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
事業実施主体		【所有】逗子市 【整備・運営】PFI等を活用した民間事業者
実施時期		R6：海業振興基本計画策定・各種調整 R7：海業振興実施計画策定 R8：施設設計業務 R9：施設整備 R10～ 事業開始予定
ビジネスモデル	収益確保方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営事業者は、施設・設備の管理・運営を行うとともに、テナント等で自主事業による収益も想定（出店条件等は要検討）</li> <li>周辺の加工・販売・飲食店舗等への案内・送客の役割を持つことで、小坪海浜地域全体の賑わい創出・売上増につなげる</li> <li>運営事業者の収入は、施設管理運営による手数料・使用料、自主事業の売上等を想定</li> </ul>
	ターゲット、PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客、地域住民向けに、市内に広く広報するほか、周辺観光スポットでのPR、リビエラ逗子リゾートや小坪マリーナ等の隣接施設におけるPRを展開</li> </ul>
事業効果	経済的効果	<p>【売上】 組合員アンケートでの新規事業ニーズを基に、以下の売上増を想定（年間）</p> <p>①加工・販売：約1,200万円 ②飲食提供：約1500万円 ③体験観光：約450万円 ④駐車場：約2,300万円 計 約5,500万円</p>
	社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の増加、漁港周辺の安全性強化、小坪漁港の認知度向上、市内の雇用拡大 等</li> </ul>

# 小坪漁港 海業事業計画②

事業名		漁業者による水産品の加工・販売、飲食提供活性化事業
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>①の複合的施設内に加工設備や多目的広場（キッチンカースペース、屋台等）の整備・確保により、現状で加工設備や販売設備を持たない漁業者が、新たに加工・販売ビジネスに参入できるようにする。</li> <li>複合施設の整備により、漁師小屋と複合施設や駐車場との間の通路や案内を整備することで、漁師小屋周辺の回遊動線を強化し、観光客が、施設－漁師小屋－周辺店舗等を自由に往来し、漁師小屋や周辺店舗での買い物や飲食、漁業者との交流が拡大できるようにする。</li> </ul>
事業実施主体		<ul style="list-style-type: none"> <li>加工・販売、飲食サービス等は、漁業者及び既存事業者</li> </ul>
実施時期		R10以降（複合施設整備後。空間整備によらず着手できるPR（マップづくり）等はR6～）
ビジネスモデル	商品・サービスの内容・セールスポイント等（何を売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>釜揚げシラス、わかめ、魚の干物など、小坪漁港らしい水産物</li> <li>朝市や漁師小屋で地元産の新鮮な魚介類や加工品を漁業者から直接購入することができる。</li> <li>小坪地区内の各種販売店舗、飲食店等への出荷（誘客）</li> <li>小坪漁港の水揚品、周辺店舗の商品だけでなく、漁業者との交流、地域の雰囲気自体も商品の一部として活用</li> </ul>
	活動（どう売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>複合施設での観光案内、マップ提示・配布、漁業者との交流等</li> </ul>
	リソース、パートナー（資材、仕入先等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな加工品製造、販売は、小坪漁港の水揚品を原則とする</li> <li>既存の店舗や飲食店、漁業者の商品・サービス情報が、複合施設でワンストップで得られるようにする。</li> </ul>
	ターゲット、チャネル等（誰に売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客、地域住民向けに、市内に広く広報するほか、周辺観光スポットでのPR、リビエラ逗子リゾートや小坪マリーナ等の隣接施設におけるPRを展開</li> </ul>
事業効果	経済的効果	<p>&lt;売上&gt; 新規加工・販売による売上高：1,500万円/年 新規飲食サービスによる売上高：1,200万円/年            ※9月に実施した漁協組合員向けのニーズ調査における、期待する売上高に基づき設定            漁業者、加工・販売事業者及び市内商業者の売上増（出店、誘客による売上増）</p>
	社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の増加、小坪漁港の認知度向上、市民の雇用拡大 等</li> </ul>

# 事業② 「漁業者による水産物の加工・販売、飲食提供活性化事業」の経済波及効果

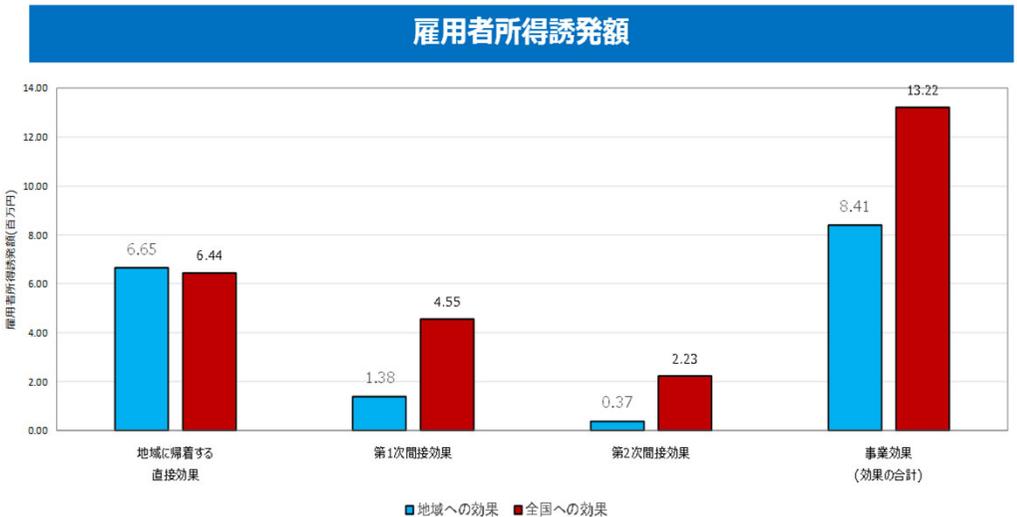
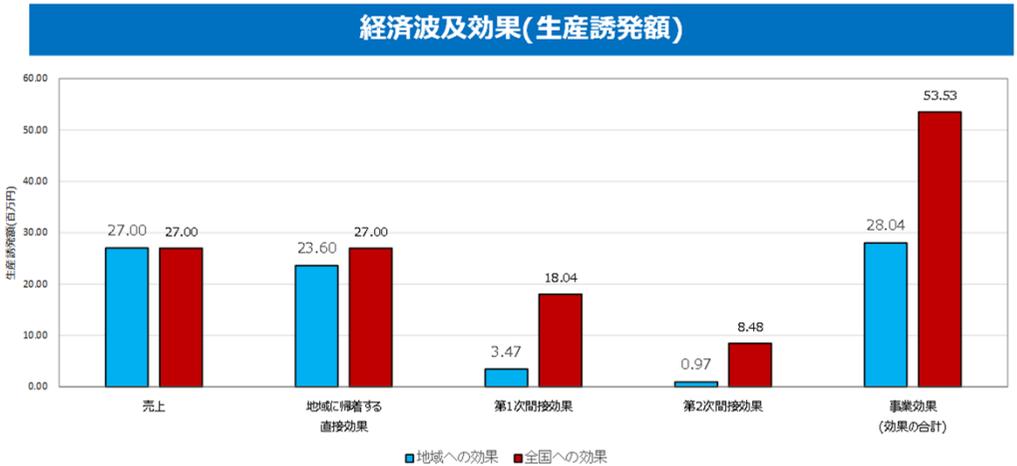
## ○算定条件（仮定値）

項目	設定値
水産物の年間販売金額	—
水産物加工品の年間販売金額	1,500万円/年
飲食サービスの年間販売金額	1,200万円/年
年間の売上高	2,700万円/年

費目	支出金額	域内調達割合
水産物の仕入れ	450万円/年	100%
その他食料品の仕入れ	—	100%
人件費	850万円/年	—
電力費	240万円/年	0.3%
ガス・水道料	120万円/年	15.4%
運賃	—	49.4%
不動産賃貸料	—	87.9%
通信料	—	39.3%
リース・レンタル料	500万円/年	77.5%
その他経費	100万円/年	77.5%
営業外費用	—	42.4%
法人税等	—	—
当期純利益	440万円/年	—

項目	割合（設定値）
資本金の地域内出資割合	100%
地域内雇用者割合	100%

## ○経済波及効果



※上記経済波及効果は、事業開始後に継続的に発生する事業効果（単年分）を示すものである。  
 ※経済波及効果（生産誘発額）：事業実施によって増加した需要に対して、原材料の調達先の産業等を含めて新たに生まれる生産額のこと。  
 ※雇用者所得誘発額：事業実施による生産増加に伴って増加する、地域内で働く従業員に対して地域内の企業が支払う賃金の金額のこと。  
 ※地域に帰着する直接効果：事業による売上のうち、原材料等を域内で調達しているものに限って算出した、実質的な地域の売上のこと。  
 ※第1次間接効果：事業実施により直接的な売上上の発生に伴い、間接的に発生する原材料等の売上のこと。  
 ※第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果の売上が所得と消費に回ることによって発生する売上のこと。  
 ※地域への効果：地域外への流出分を除いた、地域に帰着する効果。  
 ※全国への効果：地域内・外の両方に帰着する効果の合計。仮にすべての原材料等が100%地域内で調達できる場合には、地域への効果と全国への効果が同じ金額となる。

# 小坪漁港 海業事業計画③

事業名	海上タクシー事業	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5に実施した実証実験の結果をふまえ、漁師が漁業活動をしていない時間帯に、漁船や漁港施設を活用し、周辺観光地（逗子海岸、江の島、葉山等）と小坪漁港を結ぶ海上タクシー（漁師タクシー）を運航することで観光客を呼び込む。</li> </ul>	
事業実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者（船舶所有者）</li> </ul>	
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6～（実施可能なルートから開始し、将来的に拡大）</li> </ul>	
ビジネスモデル	商品・サービスの内容・セールスポイント等（何を売るか）	①小坪―逗子海岸 片道10分～15分 1,000円 ②小坪―葉山間 片道15分～20分 1,500円 ③小坪―江の島間 片道30分～40分 2,000円 ④逗子湾遊覧 約30分 2,000円 ※価格は令和5年度海上タクシー実証実験を参考に記載 ※時間、価格、航路等は実証実験を踏まえ、今後検討・協議する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>気軽な価格帯・時間で漁業者が運航する漁船に乗るという特別な体験ができる。</li> <li>繁忙期の周辺道路・交通機関の混雑を回避できる</li> </ul>
	活動（どう売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>経由地となる周辺観光地での広報を行う（代替の交通手段としての周知）</li> </ul>
	リソース、パートナー（資材、仕入先等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の漁船を活用</li> <li>将来的には、専用の船舶確保等も想定</li> </ul>
	ターゲット、チャネル等（誰に売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>逗子海岸、鎌倉、葉山、江の島等の周辺観光地を訪れている観光客</li> <li>見込客数：年間約7,000人</li> </ul>
事業効果	経済的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者の所得向上</li> </ul> <売上> 乗客数3～4人×1日6往復（江の島は3往復）× 土日2日間×月4週 = 582人/月×12か月 ≒7,000人 平均単価1,500円 年間売上想定 約1,000万円
	社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪地区の認知度向上、利用をきっかけとした小坪漁港への立ち寄り増・滞在時間拡大</li> <li>逗子海岸等周辺観光客の小坪への移動ルート設置に伴う関係人口増加による小坪海浜地域の賑わい</li> </ul>
調整事項、関連制度等	事業を実施する前に、各船長において下記の国への許認可手続きや研修の受講が必要となる。 『人の運送をする内航不定期航路事業届出』『小型船舶特定操縦免許・小型旅客安全講習』『小型船舶 検査』その他、法改正に対する対応等。	

# 事業③ 「海上タクシー事業」の経済波及効果の試算

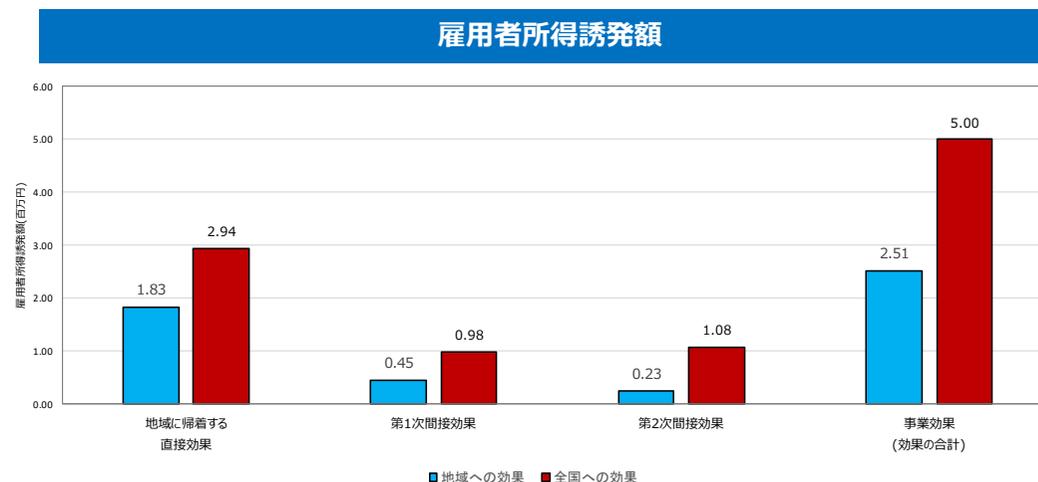
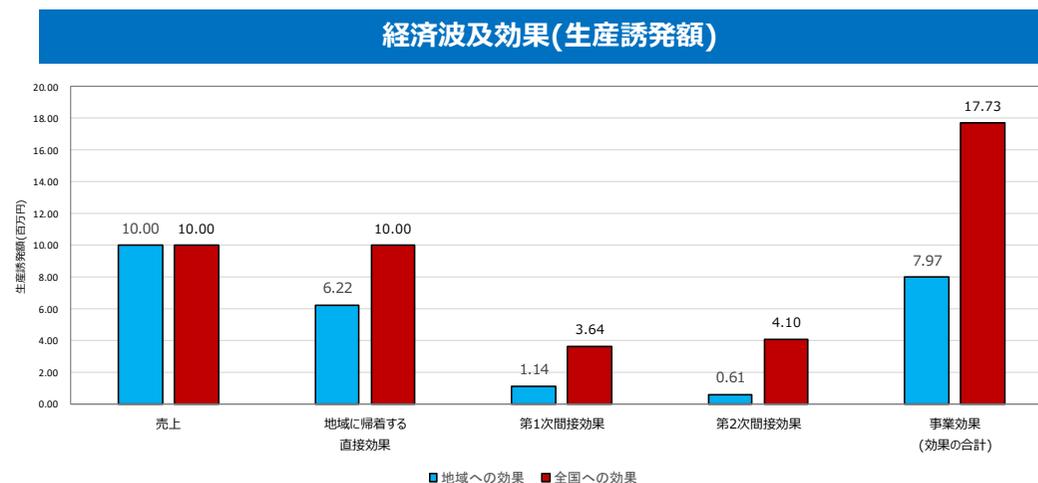
## ○算定条件（仮定値）

項目	設定値
延べ利用人数	7,000人/年
一人一回あたりの利用料	1,500円/人・回
年間の売上高	約1,000万円/年

費目	支出金額	域内調達割合
資材代	-	100%
人件費	375万円/年	-
電力費	-	0.3%
ガス・水道料	-	15.4%
燃料費	500万円/年	49.4%
保険料	-	77.5%
不動産賃貸料	-	87.9%
リース・レンタル料	-	77.5%
修繕費	-	77.5%
その他経費	-	77.5%
営業外費用	-	42.4%
法人税等	-	-
当期純利益	70万円/年	-

項目	割合（設定値）
資本金の域内出資割合	100%
域内雇用者割合	100%

## ○経済波及効果



※上記経済波及効果は、事業開始後に継続的に発生する事業効果（単年分）を示すものである。  
 ※経済波及効果（生産誘発額）：事業実施によって増加した需要に対して、原材料の調達先の産業等を含めて新たに生まれる生産額のこと。  
 ※雇用者所得誘発額：事業実施による生産増加に伴って増加する、地域内で働く従業員に対して地域内の企業が支払う賃金の金額のこと。  
 ※地域に帰着する直接効果：事業による売上のうち、原材料等を域内で調達しているものに限って算出した、実質的な地域の売上のこと。  
 ※第1次間接効果：事業実施により直接的な売上の発生に伴い、間接的に発生する原材料等の売上のこと。  
 ※第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果の売上が所得と消費に回ることで発生する売上のこと。  
 ※地域への効果：地域外への流出分を除いた、地域に帰着する効果。  
 ※全国への効果：地域内・外の両方に帰着する効果の合計。仮にすべての原材料等が100%地域内で調達できる場合には、地域への効果と全国への効果が同じ金額となる。

# 小坪漁港 海業事業計画④

事業名	小坪エリアの資源を生かした体験観光・教育事業	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>R5以前に実施した取り組みをふまえ、観光客や、子ども（学校等）を対象に、漁業体験や加工体験、海洋環境（循環共生）、小坪の歴史や文化などを題材とした体験観光・教育コンテンツを造成し、漁港関係者や地元住民等がガイド役となって、非日常の体験を提供することで、所得向上及び小坪海浜地域の活性化につなげる。</li> </ul>	
事業実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪漁業協同組合、地域住民、民間事業者</li> </ul>	
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6～（実施可能な取り組みから開始し、将来的に拡大）</li> </ul>	
ビジネスモデル	商品・サービスの内容・セールスポイント等（何を売るか）	<p>①漁師体験：刺し網漁を体験。漁師が漁業の手順・方法を説明。</p> <p>②加工体験：水揚げされた水産品の加工を体験。</p> <p>③環境教育：漁業者自らが講師となり、環境の変化による漁業への影響、資源循環、SDGsへの取り組み（キャベツウニの養殖やアオリイカの産卵床など）等を説明。</p> <p>④歴史・文化教育：漁業者または地元住民が講師となり、港散策、まち歩きを伴いながら小坪の漁業の歴史や文化・暮らしなどをテーマに説明。</p> <p>価格：1,500円／人 ※関東の他自治体の類似サービスを参考に算出          ※漁業や海洋環境、小坪地域への理解を深め、漁業や小坪海浜地域への関心を高める。          ※漁業者自ら説明することで、説得力のある内容となる。          ※小坪海浜地域の歴史・文化、環境なども併せて説明することで、独自性を高めるとともに、新規漁業者の拡大、移住者の確保にもつなげていく。</p>
	活動（どう売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いこよ」等レジャー情報サイト、周辺観光施設でのPR、学校や学習塾等を通じた広報 等</li> </ul>
	リソース、パートナー（資材、仕入先等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪の環境、資源、人材をリソースとする。</li> <li>市内からボランティアガイド等を募り、地域住民の生きがいつくり、愛着醸成にもつなげる</li> </ul>
	ターゲット、チャネル等（誰に売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺観光客、大都市近郊のファミリー層、逗子市内・近郊の小学校、リビエラ逗子マリナー滞在者</li> <li>リビエラ逗子マリナーとの連携により、SDGs、環境意識の高い富裕者層も想定</li> </ul>
事業効果	経済的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業者の所得向上、地域住民の所得向上</li> </ul> <p>&lt;売上&gt; ・1日あたり客数10人×1日4回×年間120日営業 ≒5,000人／年 平均単価 1回1,500円  <u>年間売上想定750万円</u></p>
	社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪海浜地域の認知度向上、住民の愛着・誇りの醸成、地域のイメージ向上、漁業への理解促進</li> </ul>

# 事業④ 「小坪地域の資源を生かした体験観光・教育事業」の経済波及効果の試算

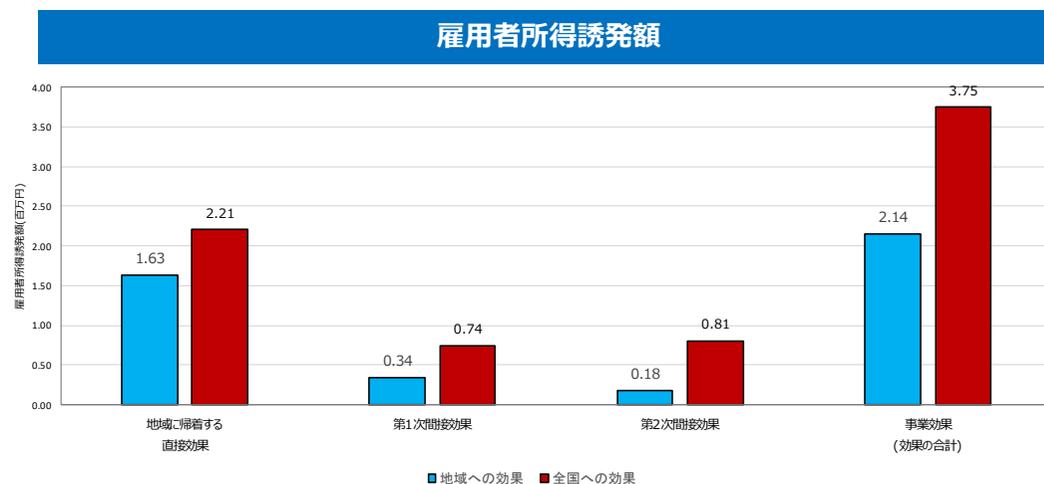
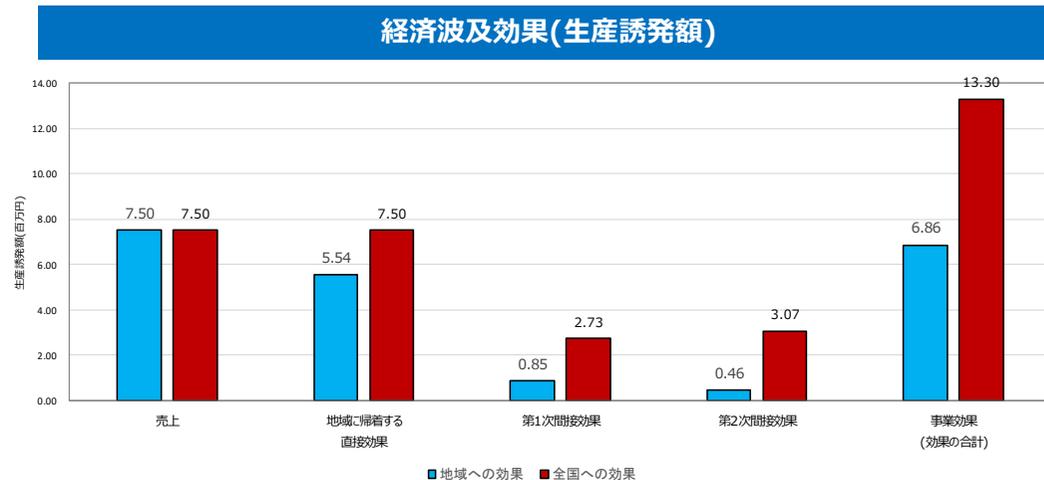
## ○算定条件（仮定値）

項目	設定値
延べ利用人数	5,000人/年
一人一回あたりの利用料	1,500円/人・回
年間の売上高	750万円/年

費目	支出金額	域内調達割合
資材代	144万円/年	100%
人件費	240万円/年	—
電力費	—	0.3%
ガス・水道料	—	15.4%
燃料費	—	49.4%
保険料	—	77.5%
不動産賃貸料	50万円/年	87.9%
リース・レンタル料	—	77.5%
修繕費	—	77.5%
その他経費	20万円/年	77.5%
営業外費用	—	42.4%
法人税等	—	—
当期純利益	296万円/年	—

項目	割合（設定値）
資本金の地域内出資割合	100%
地域内雇用者割合	100%

## ○経済波及効果

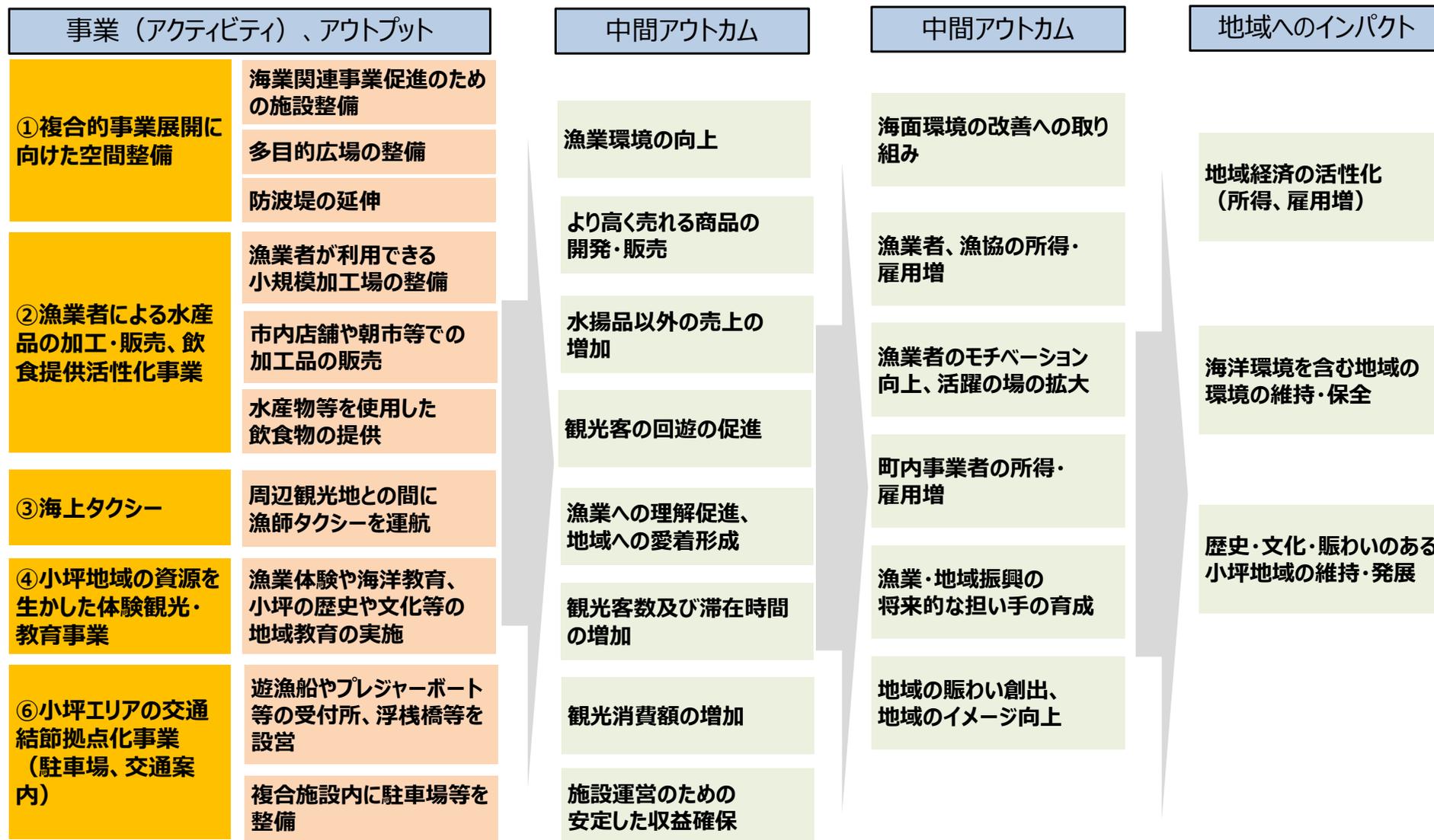


※上記経済波及効果は、事業開始後に継続的に発生する事業効果（単年分）を示すものである。  
 ※経済波及効果（生産誘発額）：事業実施によって増加した需要に対して、原材料の調達先の産業等を含めて新たに生まれる生産額のこと。  
 ※雇用者所得誘発額：事業実施による生産増加に伴って増加する、地域内で働く従業員に対して地域内の企業が支払う賃金の金額のこと。  
 ※地域に帰着する直接効果：事業による売上のうち、原材料等を域内で調達しているものに限って算出した、実質的な地域の売上のこと。  
 ※第1次間接効果：事業実施により直接的な売上の発生に伴い、間接的に発生する原材料等の売上のこと。  
 ※第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果の売上が所得と消費に回ることによって発生する売上のこと。  
 ※地域への効果：地域外への流出分を除いた、地域に帰着する効果。  
 ※全国への効果：地域内・外の両方に帰着する効果の合計。仮にすべての原材料等が100%地域内で調達できる場合には、地域への効果と全国への効果が同じ金額となる。

# 小坪漁港 海業事業計画⑤

事業名	小坪エリアの交通結節拠点化事業（駐車場、交通案内）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>①の施設整備により、観光客向け他の駐車場、観光案内、海上タクシー乗り場等を一体的に整備することで、収益を確保しながら、観光客の滞在時間拡大を促し、地域経済の活性化を図る。</li> </ul>	
事業実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者（施設運営者）</li> </ul>	
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>R10～（施設整備後）</li> </ul>	
ビジネスモデル	商品・サービスの内容・セールスポイント等（何を売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客向けの時間貸駐車場（観光客、海上タクシー利用者、遊漁船利用者等）</li> <li>受付・交通待合所・乗り場（海上タクシー受付・待合所・乗り場、休憩スペース）</li> </ul>
	活動（どう売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客のほか、海上タクシーを利用する逗子海岸・葉山・江の島方面への観光客、遊漁船利用者等の利用も想定</li> <li>観光スポットとしての利用のほか、交通結節点としての利用も想定し、多様な滞在理由に対応</li> </ul>
	リソース、パートナー（資材、仕入先等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>①の空間整備により、駐車場の台数を確保</li> <li>交通待合所は、運営者スタッフが案内役を担う</li> </ul>
	ターゲット、チャネル等（誰に売るか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客（海上タクシー利用者、遊漁船利用者、マリンレジャー利用者等も含む）</li> <li>時間貸により、短時間の立ち寄り客、遊漁船や体験観光等の利用客等、多様な層をターゲットとして想定</li> </ul>
事業効果	経済的効果	<p>&lt;売上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（平日）150台×193日 ×稼働率0.3 + （休日）150台×120日 ×稼働率0.7 ≒20,000台／年</li> <li>平均単価1,100円 年間売上想定 約2,000万円</li> </ul>
	社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>小坪地区の認知度向上、住民の愛着・誇りの醸成、地域のイメージ向上、漁業への理解促進</li> </ul>

# 海業振興によって期待される効果



図表20 海業による地域への効果

# スケジュール

事業名	事業主体	実現までの実施事項					実施時期											
		実施項目	概要	実施主体	活用したい支援事業	想定概算費用	短期					中期						
							R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～	
複合的空間整備事業	逗子市、民間事業者	海業振興基本計画策定・各種調整	基本計画策定、調査、関係者との調整等	逗子市	漁港機能増進事業	11,946千円	■											
		海業振興実施計画策定	海業振興実施計画の策定	逗子市、民間事業者	未定	未定		■										
		設計・工事	複合施設の設計・工事	逗子市、民間事業者	未定	未定			■	■								
		整備完了(施設開業)	複合施設の整備完了	逗子市、民間事業者	未定	未定					★	事業開始予定						
漁業者による水産品の加工・販売、飲食提供活性化事業	漁業者及び既存事業者	飲食店マップづくり等	漁港周辺内の飲食店を記載したマップ	既存事業者	未定	未定	■	★	事業開始予定									
		新商品開発	水産加工物の新商品開発等	漁業者及び既存事業者	未定	未定			■	■								
		施設での加工・販売、飲食提供	事業実施開始	漁業者	未定	未定					★	事業開始予定						
海上タクシー事業	漁業者	事業実施	実証実験の結果をふまえ、事業を実施	漁業従事者(船舶保有者)	未定	未定	■	★	事業開始予定									
小坪エリアの資源を生かした体験観光・教育事業	小坪漁業協同組合、地域住民、民間事業者	事業実施	既存の取組を踏まえ、さまざまな事業を実施	小坪漁業協同組合、地域住民、民間事業者	未定	未定	■	★	実施可能な取組から開始し、将来的に拡大									
小坪エリアの交通結節拠点化事業	民間事業者(施設運営者)	事業実施	複合施設完成後事業を実施	民間事業者(施設運営者)	未定	未定					★	事業開始予定						